

2015年(平成27年)7月22日・水曜日・上毛新聞・社会面
「特定失踪者問題調査会」県内調査・告知記事

拉致問題解決へ
県内失踪者を調査

23、24日に民間団体

北朝鮮による拉致問題に取り組む民間団体「特定失踪者問題調査会」(東京)は23、24の両日、本県入りし、県内の特定失踪者について調査する。これまで会員が個別に調査に入ることがあったが、同会としてまとまった調査を県内で行うのは初めて。

今回調べるのは、拉致された疑いを否定できない安中市の横田道人さん(失踪当時23)と高崎市に加藤八重子さん(同38)の2人。2人の家族からの聞き取りや2人が失踪した現場

の視察などを行う。県警本部も訪問し、丁寧な調査を要望する予定。

同会が北朝鮮にいる拉致被害者に向けて家族の肉声などを伝えようと運営している短波放送「しおかぜ」の収録も併せて行う。

調査会が2011年6月から全国で実施している調査の一環。県議らでつくる群馬拉致議連や支援者らによる救済会・群馬が本県での調査を依頼していた。